

ゼロカーボンシティの実現に向けて

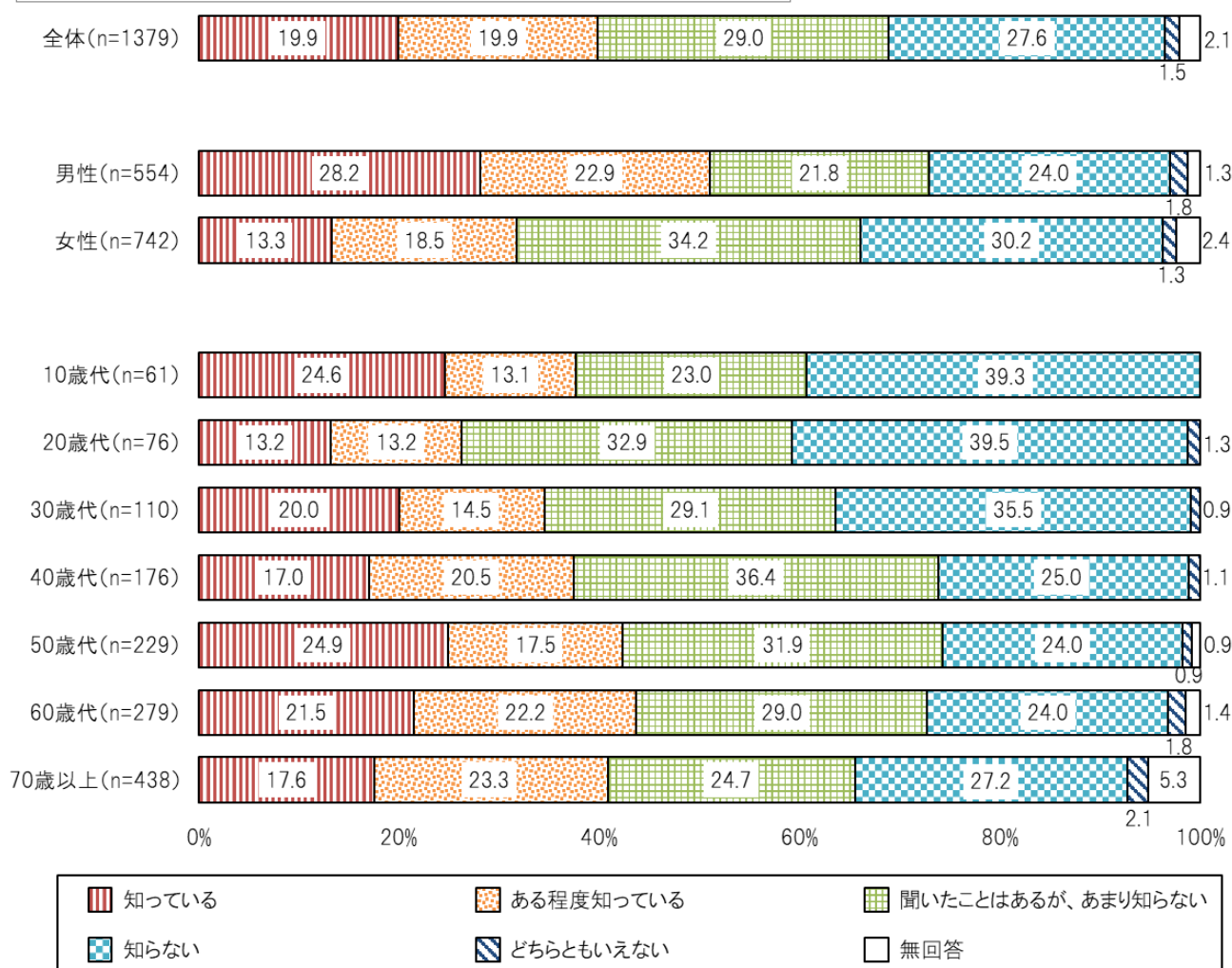
問 23 「松阪市ゼロカーボンビジョン」では、脱炭素社会の実現のために、主に行政が取り組むべき事柄をまとめていますが、「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などと呼ばれる脱炭素社会の実現をめざした地球温暖化対策について知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたことはあるが、あまり知らない」が29.0%と最も高く、次いで「知らない」27.6%となっている。

性別にみると、「聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合は、男性が21.8%、女性が34.2%で女性の方が男性よりも12.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合は40歳代で最も高く36.4%となっており、10歳代で23.0%と最も低くなっている。

問23「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などの地球温暖化対策について知っていますか



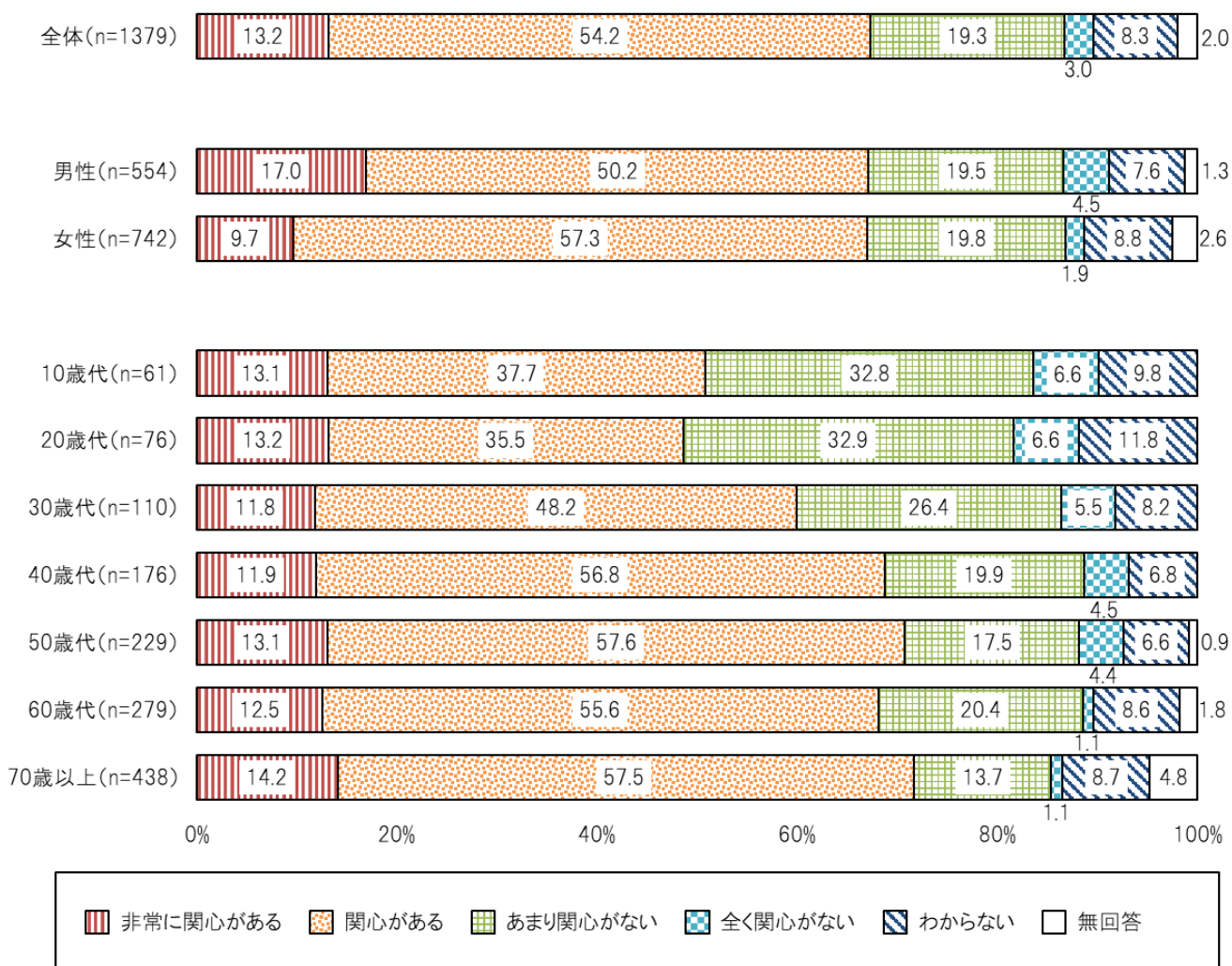
問 24 あなたは、地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心はありますか。（○は1つだけ）

「関心がある」が 54.2%と最も高く、次いで「あまり関心がない」19.3%、「非常に関心がある」13.2%となっている。

性別にみると、「非常に関心がある」「関心がある」の合計の割合は、男性が 67.2%、女性が 67.0%で男性の方が女性よりも 0.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「非常に関心がある」「関心がある」の合計の割合は 70 歳以上で最も高く 71.7%となっており、20 歳代で 48.7%と最も低くなっている。

問24 地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心はありますか



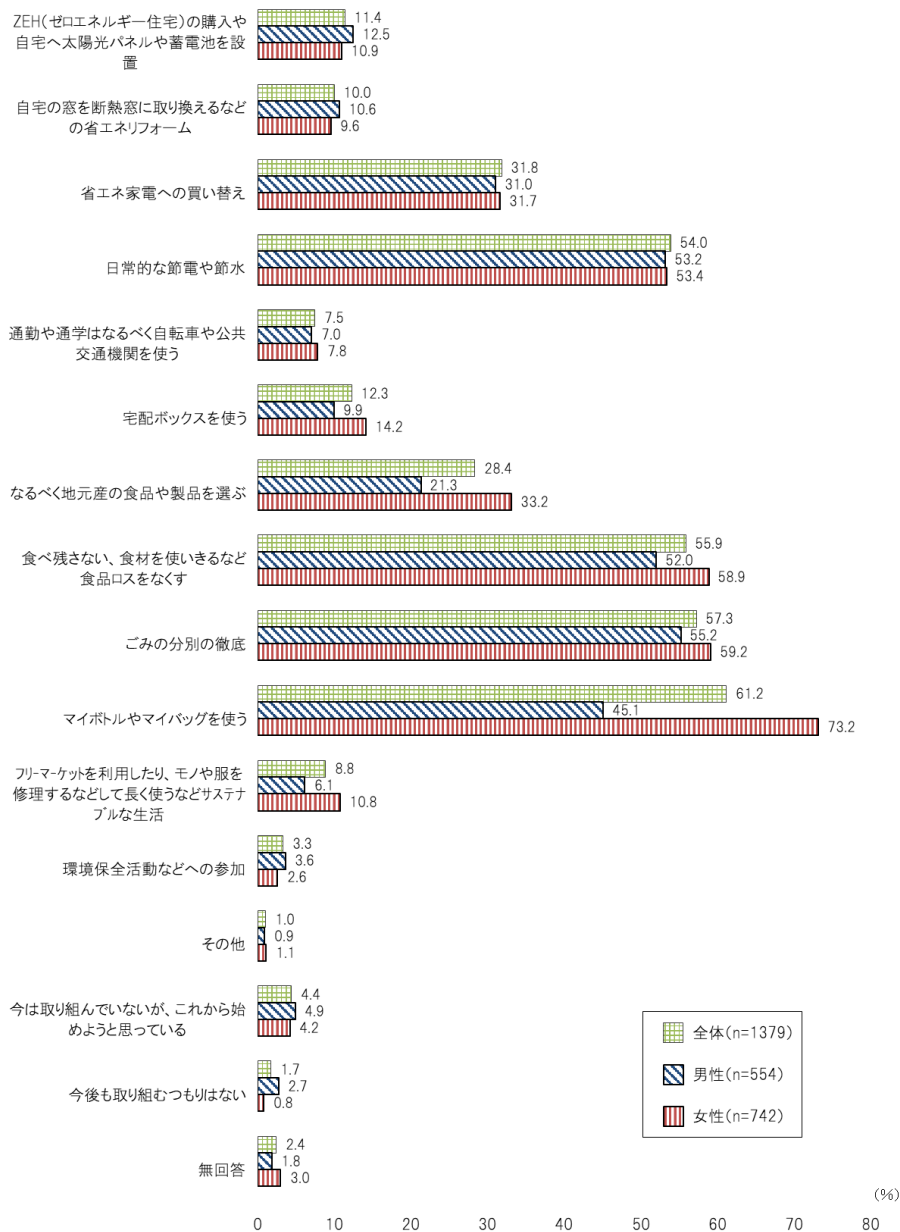
問 25 松阪市は、市民一人ひとりが脱炭素社会の実現のための様々な取組を「自分のこと」として意識していただくことで、その意識や行動の変化が地域やまち全体に波及し、脱炭素社会の実現につながっていくと考えています。あなたがすでに取り組んでいるものはありますか。（〇はいくつでも）

「マイボトルやマイバッグを使う」が 61.2%と最も高く、次いで「ごみの分別の徹底」57.3%、「食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす」55.9%となっている。

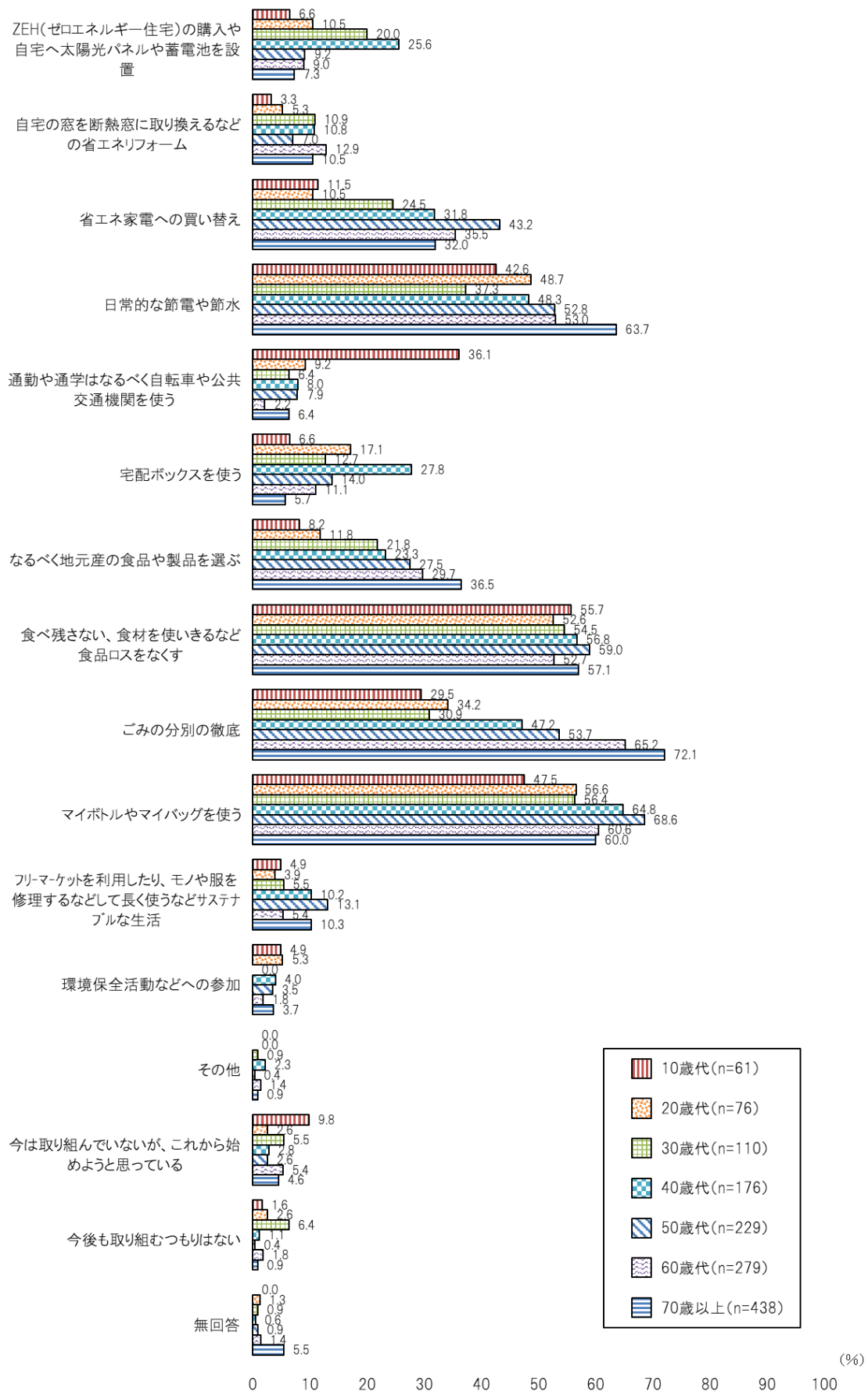
性別にみると、「マイボトルやマイバッグを使う」の割合は、男性が 45.1%、女性が 73.2%で女性の方が男性よりも 28.1 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「マイボトルやマイバッグを使う」の割合は 50 歳代で最も高く 68.6%となっており、10 歳代で 47.5%と最も低くなっている。

問25 脱炭素社会の実現のために取り組んでいるものはありますか



問25 脱炭素社会の実現のために取り組んでいるものはありますか



(%)

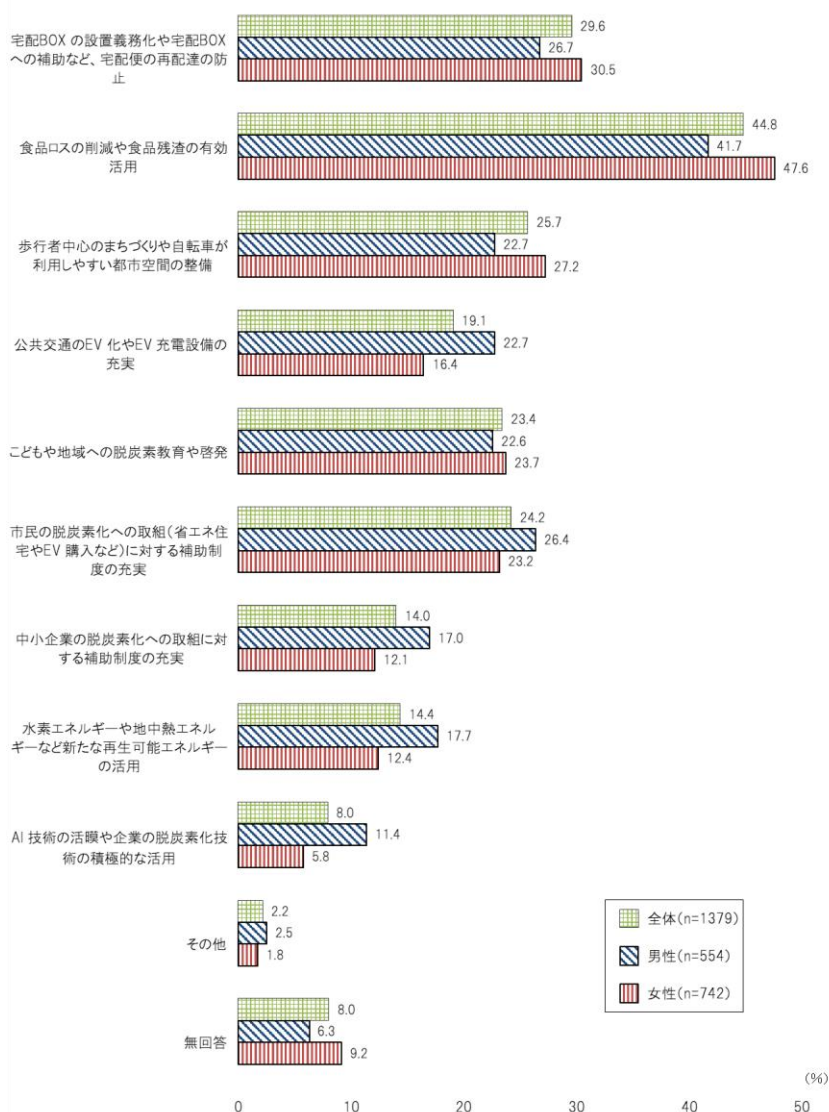
問 26 松阪市は、脱炭素社会の実現に向けて、公共施設への太陽光発電の導入や LED 照明への切替、公用車の EV（電気自動車）化などを積極的に進めています。また、ZEH や蓄電池など導入、断熱窓への改修に対する補助金制度、市民の行政手続きの電子化などに取り組んでいます。今後、さらに脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものとして、あなたの考えに近いものに○をつけてください。
（○は3つまで）

「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」が 44.8%と最も高く、次いで「宅配 BOX の設置義務化や宅配 BOX への補助など、宅配便の再配達防止」29.6%、「歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備」25.7%となっている。

性別にみると、「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」の割合は、男性が 41.7%、女性が 47.6%で女性の方が男性よりも 5.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」の割合は 10 歳代で最も高く 59.0%となっており、20 歳代で 35.5%と最も低くなっている。

問26 今後、脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものはどれですか



問26 今後、脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものはどれですか

